

図書だより

2024 9月

種子島中央高等学校図書館

「夜長」とは、秋の夜の長いことを言います。秋分の日（今年は9月22日）になると昼夜の長さがほぼ等しくなり、この日を境に昼よりも夜が長くなっていきます。暑さも和らぎ、虫の声が聞こえる秋の夜。あまり夜更かしするのも考えものですが、スマホから離れて読書にいらしてみてもいいでしょう。

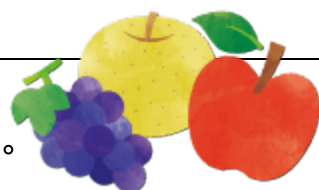


読書の秋
到来！

★よろず占い処陰陽屋 ⑪～⑮（天野 頌子）	★暴力とポピュリズムのアメリカ史（中野 博文）
カフネ（阿部 暁子）	シン・防災論（鈴木 哲生）
天国旅行（三浦 しをん）	ケアしケアされ、生きていく（竹端 寛）
サキの忘れ物（津村 記久子）	食卓の世界史（遠藤 雅司）
常設展示室（原田 マハ）	「叱らない」が子どもを苦しめる（藪下遊・高坂康雅）
パパイヤ・ママイヤ（乗代 雄介）	見やすい資料のデザイン図鑑（森重 湧太）
自由研究には向かない殺人（ホリー・ジャクソン）	20歳の自分に教えたいイスラム世界（池上 彰）
衝撃の1行で始まる3分間ミステリー	造形素材にくわしい本（内野 務）
驚愕の1行で終わる3分間ミステリー	聖書の同盟（船津 靖）
ずるい検索（江尻 俊章）	ウミウシの生態観察図鑑（西田 和紀）
19歳までに手に入れる7つの武器（樺沢 紫苑）	知っておきたい地球史の重大イベント40（古儀 君男）
教養としての西洋哲学・思想（佐藤優・伊藤賀一）	日本列島はすごい（伊藤 孝）
さみしい夜にはペンを持て（古賀 史健）	天才の光と影（高橋 昌一郎）
戦国大名の家中抗争（渡邊 大門）	スイーツヒットの理由（わけ）（山本 候充）
	ずかんシリーズ 自転車（森下 昌市郎）
	盗伐（田中 淳夫）
	「地域おこし協力隊」は何をおこしているのか？（田口 太郎）
	「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか？（今井 むつみ）

★印はリクエスト本です。

※この他にも白書（環境、看護、科学技術）配架しましたのでご活用ください。



もっと本が好きになる

本がテーマのオススメ本



『はてしない物語』
ミヒャエル・エンデ
主人公の少年・バスチアン
が出会った『はてしない物
語』という本に描かれた世界
「ファンタジーエン」は滅亡寸
前。その国を救うには、人間
界から子どもを連れてくるほ
かない…。映画化もされた
ファンタジー小説です。

『ビブリア古書堂の事件手帖』
三上 延
鎌倉にあるとある古書店が舞台。超
絶人見知りの美人店主とその助手・五
浦大輔が古書にまつわる謎を解き明
かすミステリーシリーズです。古書の
魅力とともに人間ドラマも楽しめます。



『図書館の魔女 上・下』
高田大介
知識と魔法が交錯する世界の図
書館を舞台にしたファンタジー小
説です。図書館の司書である主人
公が、古代の書物に隠された謎を
解き明かしていきます。



『お探し物は図書室まで』
青山美智子
町の小さな図書室が舞台。人生に
悩む人々が導かれるように図書室を
訪れ、個性的な司書・小町さゆりの
助けを借りて新たな一歩を踏み出す
様子を描いた連作短編集です。

『店長がバカすぎて』 早見和真
書店を舞台にしたユーモアたっぷ
りのお仕事小説です。主人公である書
店の契約社員・谷原京子が、店長の
奇妙な行動や、書店での様々な出
来事を通じて成長し、仕事や人生に
ついての新たな視点を獲得していく物語
です。

『アウシュヴィッツの図書係』
アントニオ・G・イトウルベ
アウシュヴィッツ強制収容所内にある名ば
かりの「学校」には、8冊だけの秘密の“図書
館”がある。図書係の少女ディタは、ナチスに
見つからないよう本を日々隠し持つ。モデル
となった実在の人物へのインタビューと取材
から描いた、事実に基づくフィクションです。



他にもたくさん「本がテーマの
本コーナー」に展示しています
ので、読書の楽しさや本の持つ
力を再発見してみてください。
図書館でお待ちしております！

